

津市の今昔景観集

（久居地域編）

掲載趣旨

良好な景観は市民の皆さんの大切な共有財産です。ここに掲載されている景観は過去と現在（平成22年）を比べたものです。

景観は基本的に時代の流れと共に移ろうものであり、本市にはその流れの中で良好な景観を生み出してきた事例や、逆に良好な景観を失ってきた事例もあります。

ここをご覧になった皆さんには、昔の景観を懐かしく思い出していただくと共に、今後の津市に生まれる未来の景観を思い描いていただき、良好な景観の実現に向けて、今後の景観行政にご理解ご協力いただければと思います。

経緯

市では、平成19年度に「郷土の元気な景観発見事業」を実施し、市内の良好な景観を収集してきました。その中で、過去の景観に焦点を当てることで、現在の景観の良いところ悪いところが見えてくるのではないかというご意見を市民の方から頂き、平成20年度に「昔の景観」の写真を広く市民の方に募集させていただきました。

今回は、ご応募いただいた昔の写真と、市の保有する写真の中から、過去の津市と現在の津市（平成22年3月～4月）とを比較できるようまとめさせていただきました。

写真について

ここに掲載されている写真は、募集にご協力いただいた写真や、本市が所有する資料の中から掲載しています。よって、写真の著作権等は撮影者に有り、本ページに掲載されている写真を営利目的で使用する事は固く禁じます。

< 担当窓口 >

津市 都市計画部 都市計画課 景観・緑化推進担当

TEL : 059-229-3290

E-mail : 229-3177@city.tsu.lg.jp

撮影場所：久居新町（旧国道165号線）

昔（昭和36年頃）



今（平成22年）

古い写真は新たな道路の完成後間もない秋まつりの様子です。現在はホテルや商店が立ち並んでいます。

撮影場所：久居新町の交差点

昔（昭和54年頃）



今（平成22年）

パチンコ店が建ち並んでいた交差点も、更地や違う店舗になるなど大きく変化しています。

撮影場所：久居中町（一本松付近）

昔（昭和59年頃）



今（平成22年）

様々な謂れがあり、久居の方たちにとってはなじみ深い木であった一本松も、事故による枯死のため平成16年に伐採され、今はその根元に記念碑が建つのみとなっています。

撮影場所：久居幸町付近

昔（昭和59年ころ）

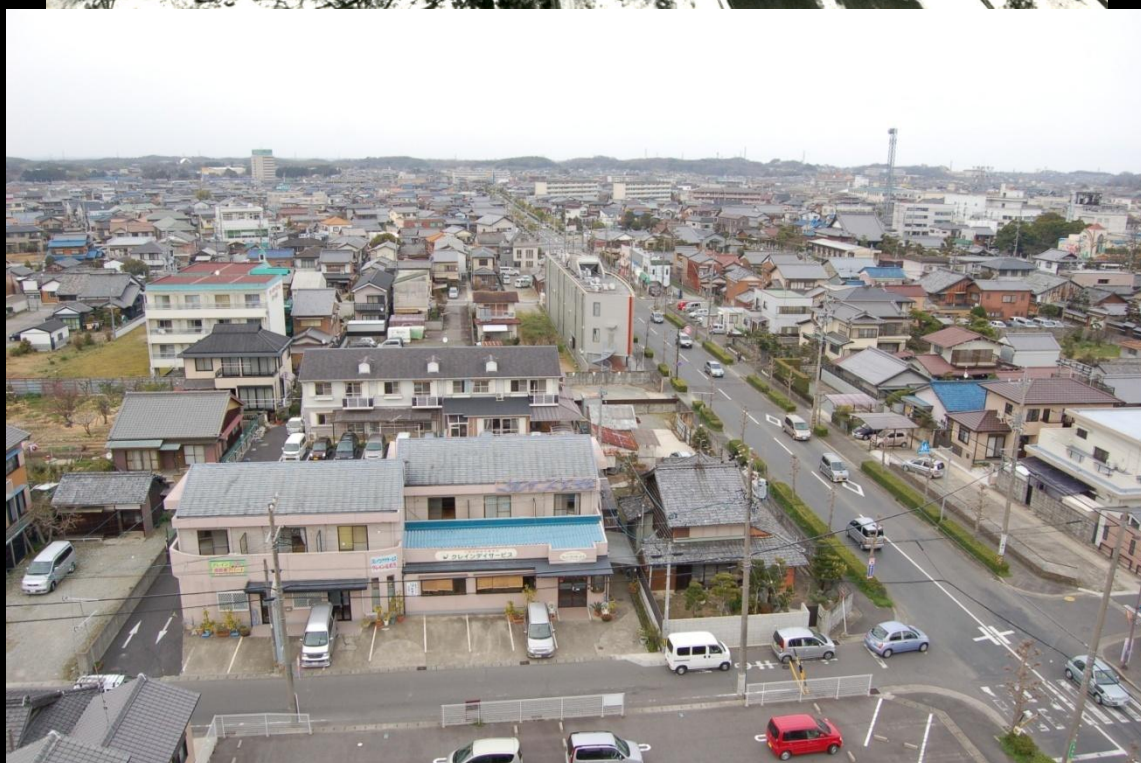


今（平成22年）

庇やうだつが残り、陣屋町の町屋の雰囲気は今も残しています。

撮影場所：久居東鷹跡町（久居総合支所から北側）

昔（昭和59年ころ）



今（平成22年）

上の写真では久居総合支所前の道路がまだ国道165号線まで完成していないことがわかります。低層住宅がメインの街並みであることには変わりませんが、奥の方には高層ホテルや集合住宅等が建設されている事がわかります。

撮影場所：久居東鷹跡町（久居総合支所から南側）

昔（昭和59年ころ）



今（平成22年）

北側に比べ、周囲の建物がかなり更新されています。また、現在の総合支所駐車場部分に当時は建物が建っていたことが分かります。

撮影場所：久居東鷹跡町（久居総合支所から東側）

昔（昭和45年）



今（平成22年）

昭和45年当時は見渡す限り低層住宅が広がっています。現在も低層住宅が多い中で、左奥にはポルタ久居が見られます。

撮影場所：久居駅前商店街

昔（昭和45年）



今（平成22年）

多くの人で賑わう久居駅前商店街の様子が見えます。現在は新しい県道が完成し、人や車の通行も新しい県道がメインとなっています。

撮影場所：久居駅前（西口）

昔（昭和45年ころ）



今（平成22年）

駅前再開発が始まる前の久居駅です。平成9年に再開発が完了し、華麗なガラス屋根をもつロータリーとポルタ久居が誕生しました。

撮影場所：久居本町5丁目（油庄前）

昔（昭和58年ころ）

今（平成22年）



国の登録有形文化財である「油庄」は当時の姿を今に伝えています。当時は油庄の向かいにも古い建物が残っていたことが分かります。

撮影場所：榊原温泉郷

昔（昭和初期）



今（平成22年）

当時の榊原温泉には金閣寺や三十三間堂を模した温泉施設がありました。金閣寺を模した建物の基礎はそのまま残っているのが分かります。